

# 胴割れに注意！ 稲刈りの時点ですでに割れている・・・ことも

出穂期の高温が続き、モミの肥大など出穂後の登熟（成熟）が一気に進んでいる地域が多くあるようです。この場合、**水分不足による胴割れ**になりやすいので**適期に収穫**するようにお願いします。（早すぎる落水・刈り遅れにもきをつけましょう）

また「**高温登熟障害**」の症状により、**刈取時において水分ムラ**のある極端なケースも多く発生しているようです。

適期刈取とは、水分ムラの少ない状態の22～23%くらいで刈取をするのが望ましく、例えば**刈取直後の水分が28%～18%**と幅がありすぎる悪条件下では

1. 通常の乾燥運転を行うと**胴割れが増加傾向・重度化**する恐れがあります。
2. 乾燥機に入れた籾の水分に幅がありすぎて、水分ムラが取れにくく仕上げ水分の管理が極めて困難になります。（乾燥機の水分計と手動の水分計で差が大きく出るケースです）

刈り取る前にすでに  
胴割れを起こしているので  
非常に気づきにくい！

開えい籾（籾割れ）



立毛中の胴割れ（籾殻を剥くと）



稲を刈り取る前に、すでに胴割れを起こしている籾はどうすることもできません。



## 異常気象年の乾燥のポイント

### 二段乾燥

2段乾燥（休止乾燥）で乾燥して下さい。  
一度18%まで乾燥してから、  
一旦**6時間ほど乾燥機を停止**します。  
その後、再度設定水分（14.5%）まで乾燥を行います。  
（気温が低くなる夜間がオススメ）  
胴割れや水分ムラを抑えることができ、  
籾を優しく仕上げます。

### 低温乾燥

籾を張り込んだ量→すなわち**張込量・穀物量設定ダイヤル**  
（温度設定ダイヤル）を通常より低めに絞って時間をかけて乾燥を行う。  
（例）乾燥機の枠の窓**2**まで  
籾が入っていたら  
**1.5** や **1** に絞る

ちょっと聞いて・・・ ワンポイントアドバイス

- ①乾燥終了直後の通風（送風）運転は絶対に行わないで下さい（胴割れ）
- ②あまり意味の無い長時間の通風（送風）運転は避けましょう！籾が傷みます

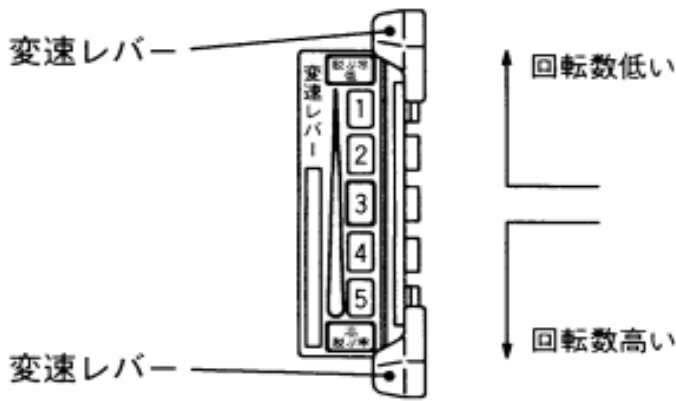
10月に入っても高温が続くようなら、保管する場所にも注意して下さい。  
倉庫の上の方に置いていると、外気温が高いせいで水分が抜け、少し乾く（低く）場合もあります。

# 異常気象年の籾摺りのポイント

高温障害の籾は通常よりも  
胴割れしやすくなっているため、  
脱ぶ率を上げすぎないように  
注意して下さい。

## ロールを使わない籾摺機の場合 ジェット式籾摺機MRシリーズ ぶんぶん丸

変速レバー位置「1」「2」「4」「5」

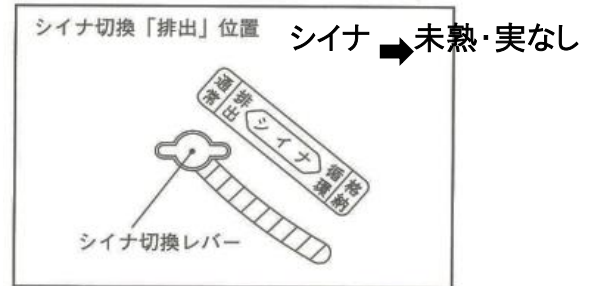


※稲刈りの時点で胴割れを  
起こしている籾は  
どうにもなりません！

脱ぶファンの変速レバーを  
「回転数低い」の方向へ動かすと  
多少、作業能率は下がりますが  
籾には少し優しく脱ぶします。



※「シイナ排出」にあわせて  
作業されることをおすすめします



## 各メーカーのサイト こちらも参考にしてみてください



山本製作所  
適期刈取について



大島農機  
乾燥と籾摺り作業の注意

## よく忘れがち！翌年詰まる原因になります！

### 大島籾摺機 MR「3」インチ 「ぶんぶん丸」使用後の注意

エアーコンプレッサーを  
使用すると非常に  
掃除がはかどりますよ！



作業終了後、この奥にある  
機体の底の掃除用プレート  
を引き抜いて残った玄米（残留物）を  
底から排出して下さい。

（※忘れると翌年ツツラ虫が発生して  
機械を詰まらせてしまいます）



お客様にさせていただく  
**乾燥作業終了後のお手入れ**  
キレイに掃除して格納しよう！

必ず電源を切つて！

① 風胴金網のほこり

④ シヤッタベルトの残留

② 送風機内部のほこり

⑤ 下スクリューの残留

③ パーナまわりのほこり

⑥ 昇降機下部の残留

**格納保管のポイント**

- レバーや点検窓は元に戻す
- 電源コードを抜く
- ネズミ防止のふたをする
- 燃料タンクのコックは開けておく